

# Techivation M-De-Esser

## ユーザーマニュアル



# Techivation M-De-Esser

## 概要

スペクトルシェーピング技術を搭載した革新的なオーディオツール、M-De-Esser を紹介します。この強力なプラグインは、素晴らしい透明性と正確さでオーディオソースから耳障りさと歯擦音を軽減することを目的としており、バランスのとれた洗練されたサウンドの出力をもたらします。

M-De-Esser は、オーディオエンジニア、音楽プロデューサー、ポッドキャスト・クリエイター、ナレーション・アーティスト、その他のクリエイター・グループを含む、さまざまなユーザーに対応するように設計されています。

ユーザーフレンドリーなインターフェイスにより、ディエッシングプロセスの直感的な制御とカスタマイズが可能となり、ユーザーが望ましいオーディオの結果を簡単に実現できるようになります。

M-De-Esser をワークフローに組み込むことで、録音の著しい改善を体験することができ、洗練されたハイエンドの周波数バランスをもたらします。このツールは、不要なアーティファクトを最小限に抑え、よりスムーズで自然なサウンドの出力をもたらすのに役立ちます。

詳しくは: <https://techivation.com/m-de-esser/>

# Techivation M-De-Esser

## 機能(Features)

- Sensitivity
- Strength
- Softness
- Fast Mode
- Med Mode
- Slow Mode
- Air Control
- Dry/wet Mix
- Frequency Slider
- Diff
- Filter
- Input-Output Level Meters
- Mid-Side and Left & Right
- Gain Control
- Internal On-Off Switch
- A/B Switch
- Undo-Redo Options
- Scaleable Graphic User Interface (GUI)
- Internal Menu
- Show/Hide Tooltips
- Stereo and Mono
- Presets

# クイックユーザーガイド

**Sensitivity:** スペクトル圧縮のしきい値を制御します。選択した周波数範囲のしきい値は、全体の信号レベルに応じて相対的に設定されます。したがって、プラグインの動作は入力レベルに依存しません。

**Strength:** スペクトル圧縮のレシオと最大のゲイン・リダクションの度合いを制御します。

**Softness:** スペクトルの平滑化の量とスペクトル圧縮のソフト・ニードル幅を制御します。

**Fast モード:** 時間の経過とともに漸次的かつ滑らかに処理を行うことよりも、トランジェントを維持することを優先するように応答速度を設定します。

**Medium モード:** トランジェントの維持と時間の経過とともに漸次的かつ滑らかに処理を行うことのバランスをとるように応答速度を設定します。

**Slow モード:** トランジェントを維持するよりも時間の経過とともに漸次的かつ滑らかに処理を行うことを優先するように応答速度を設定します。

**Air:** さらに高調波を追加することで、選択した周波数範囲の存在感を高めます。

**Mix:** プラグインのドライ/ウェット バランスを制御します。

**Frequency Slider:** このスライダーを使用すると、望ましくない問題が含まれる周波数範囲を見つけて選択することができ、このプラグインによってその周波数範囲が改善されます。

**Diff & Filter:** これらのボタンを使用すると、元のオーディオ信号と処理されたオーディオ信号の違いを聞くことができ、周波数に加えられた調整を微調整するのに役立ちます。

**Mid-Side and Left & Right:** この機能を使用すると、ステレオトラックの Mid チャンネルと Side チャンネル、あるいは Right チャンネルと Left チャンネルに対するプラグインのエフェクトの量を制御できます。

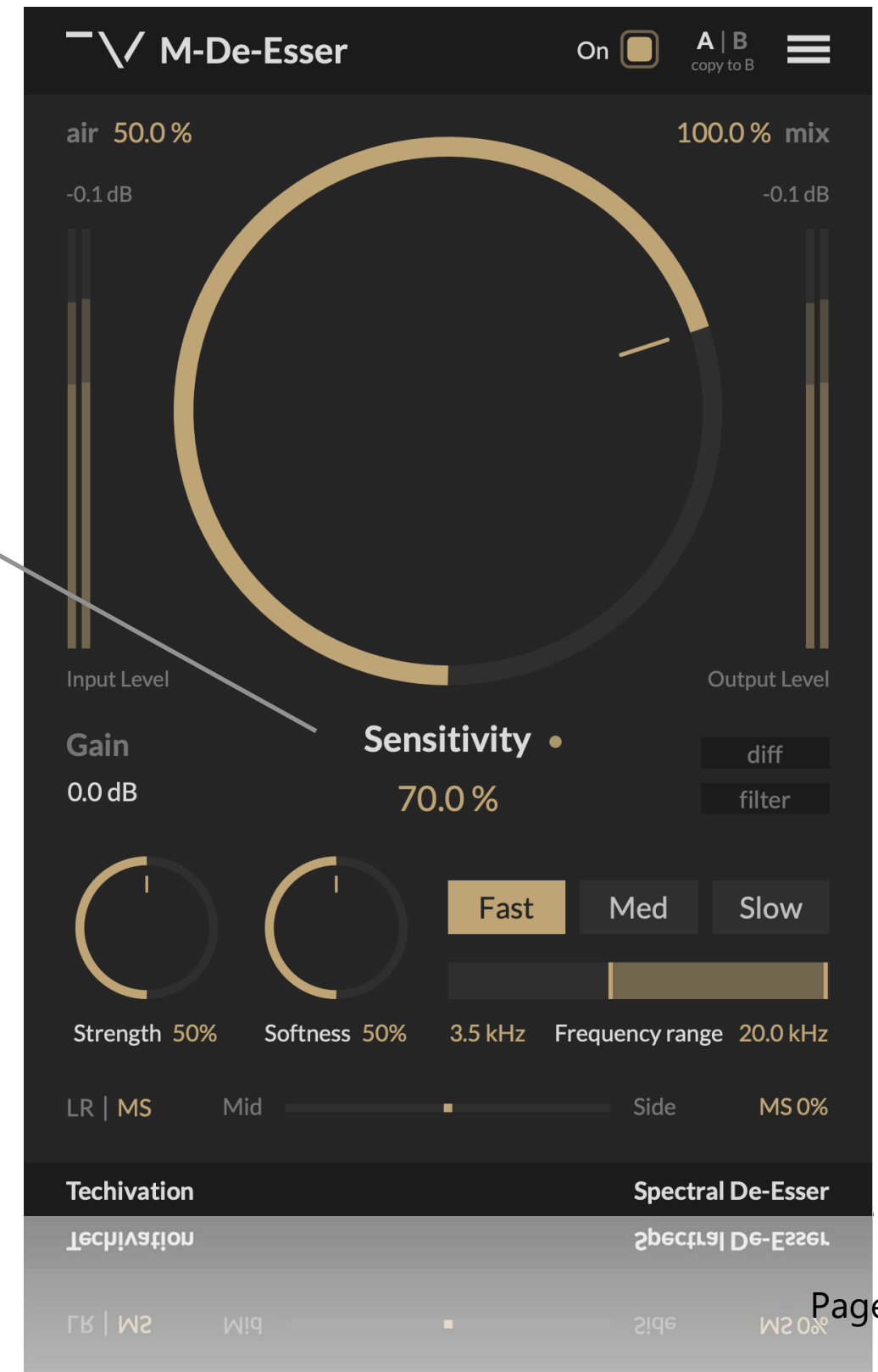
# Techivation M-De-Esser

[Features](#)

## Sensitivity

M-De-Esserは、スペクトル圧縮のしきい値を調整するコントロールを備えています。この設定は入力レベルに依存しないため、一貫したパフォーマンスが保証されます。

特定の周波数範囲を正確に制御することで、耳障りさや歯擦音を簡単に軽減し、全体の信号レベルに影響を与えることなく、バランスの取れた洗練されたサウンドを実現します。経験豊富なプロフェッショナルであっても、初心者であっても、直感的なインターフェイスにより、しきい値を簡単に微調整し、オーディオ処理で他に類を見ない素晴らしい結果を得ることができます。



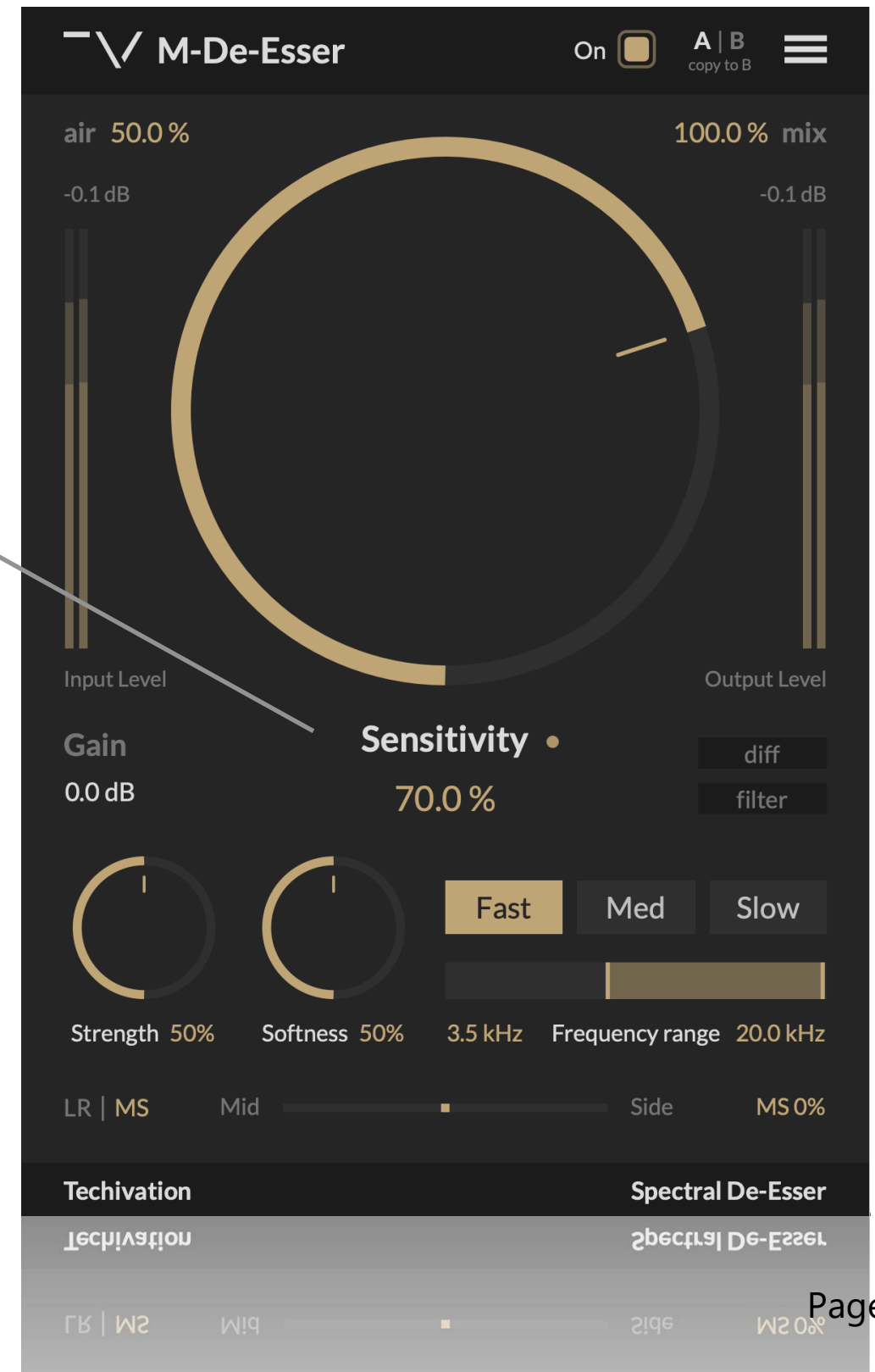
# Techivation M-De-Esser

[Features](#)

## Sensitivity

クイックヒント:

- Sensitivityノブをダブルクリックすると、デフォルト値に戻ります。(50%)
- すべてのパラメータを変更するには、パラメータの上にマウスを移動し、マウスホイールを使用します。
- 数値をダブルクリックすると、0 ~ 100 の値を入力できます。



# Techivation M-De-Esser

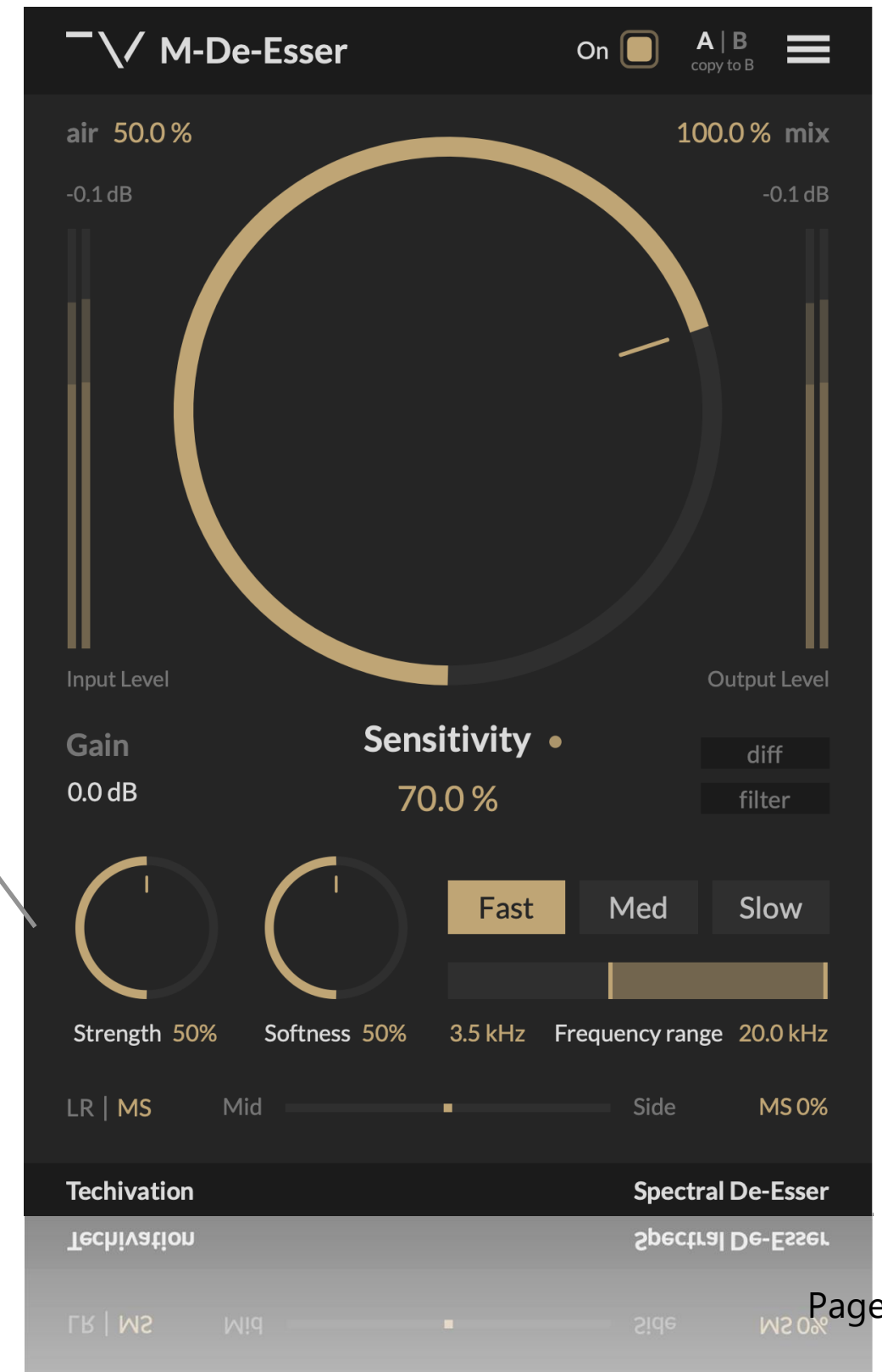
Features

## Strength

M-De-Esser は「Strength」コントロールを備えており、スペクトル圧縮の比率と最大ゲインリダクションを正確に調整できます。

この動的な機能により、耳障りさの低減とオーディオの自然な品質の維持の間の完璧なバランスを見つけることができ、望ましい結果を簡単に達成するための柔軟性をもたらしめます。

微妙なタッチを好む場合でも、より顕著な効果を好む場合でも、強度コントロールを使用すると、特定のオーディオニーズに合わせてディエッシングプロセスを調整でき、その結果、トラックを強化する洗練されたバランスの取れたサウンドの出力が得られます。





# Techivation M-De-Esser

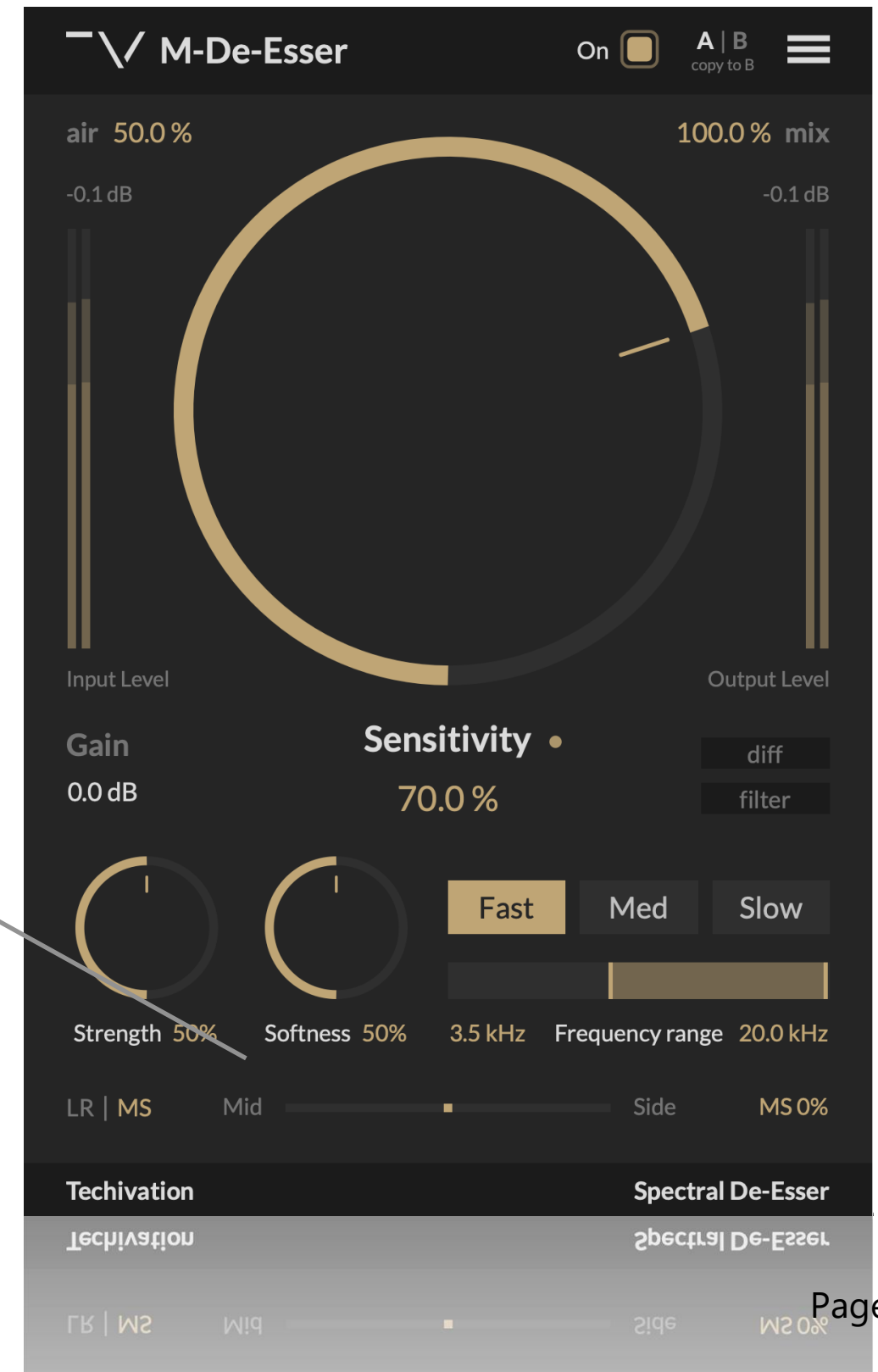
[Features](#)

## Softness

M-De-Esser の「Softness」コントロールは、スペクトルの平滑化の度合いとスペクトル圧縮のためのソフトニーの幅の両方を制御する多用途なパラメータです。

この強力なツールを思いのままに使用すると、より洗練されたシームレスなディエッシング プロセスを実現でき、オーディオの自然なダイナミクスを維持しながら、耳障りな周波数をよりスムーズに低減できます。

「Softness」コントロールを使用すると、精度と繊細さの間の完璧なバランスを取ることができ、リスナーに長い間印象を残す、磨かれたプロフェッショナルなサウンドの出力を生み出すための不可欠な資産となります。



# Techivation M-De-Esser

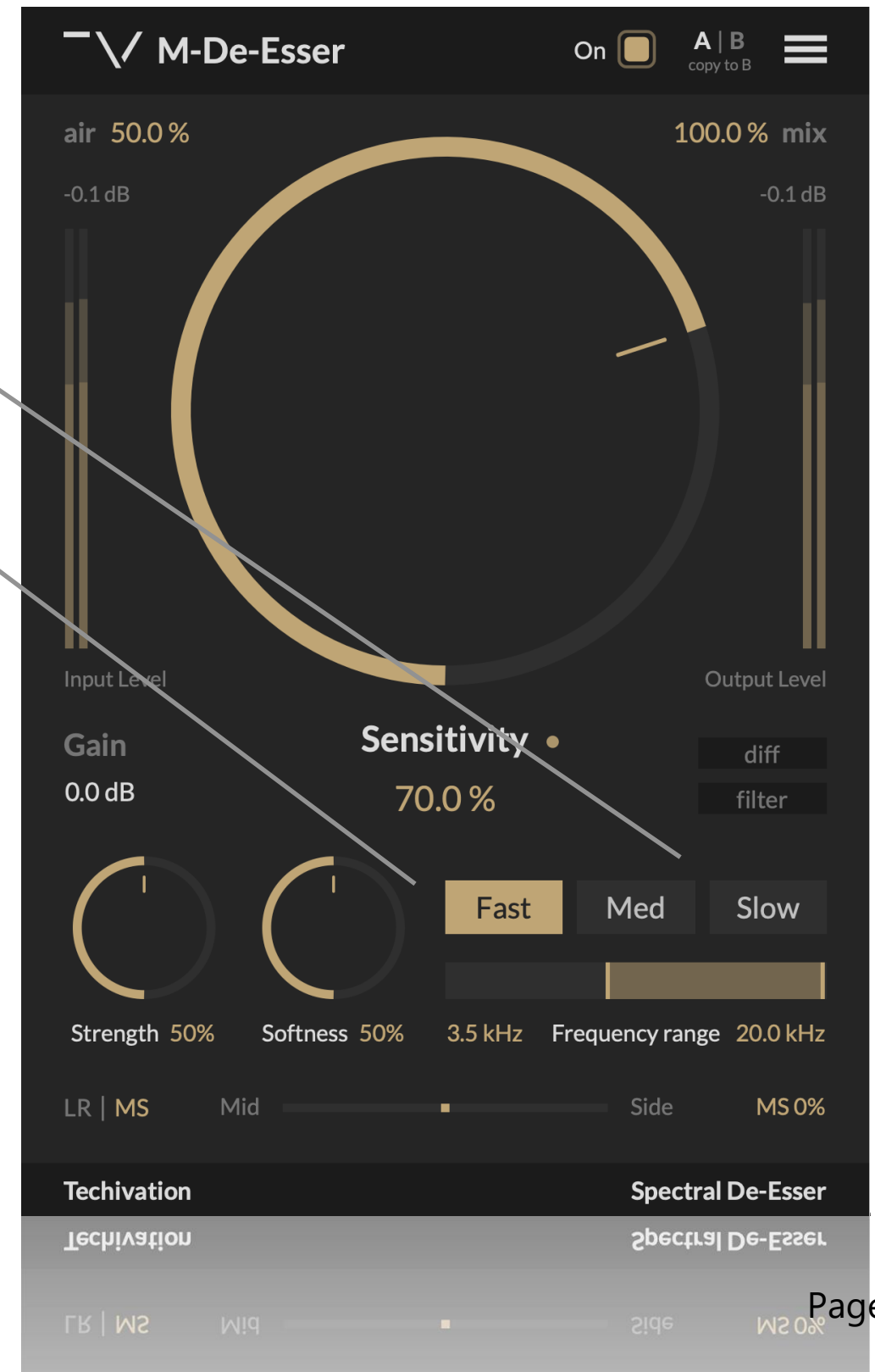
Features

## Fast Mode

M-De-Esser の「Fast」モードを使用すると、時間の経過とともに漸次的かつ滑らかに処理を行うことよりも、トランジェントを維持することを優先するように応答速度を設定できます。

この有益な機能により、オーディオの自然なダイナミクスを維持しながら、プラグインが耳障りな周波数に迅速かつ正確に対応できるようになります。

「Fast」モードを選択すると、トランジェントの鮮明さとインパクトを維持でき、その結果、オリジナルのサウンドとシームレスに統合されたクリーンで目立ち過ぎないディエッシングプロセスが得られ、トランジェントの完全性を維持することが最も重要な状況において理想的な選択肢となります。



# Techivation M-De-Esser

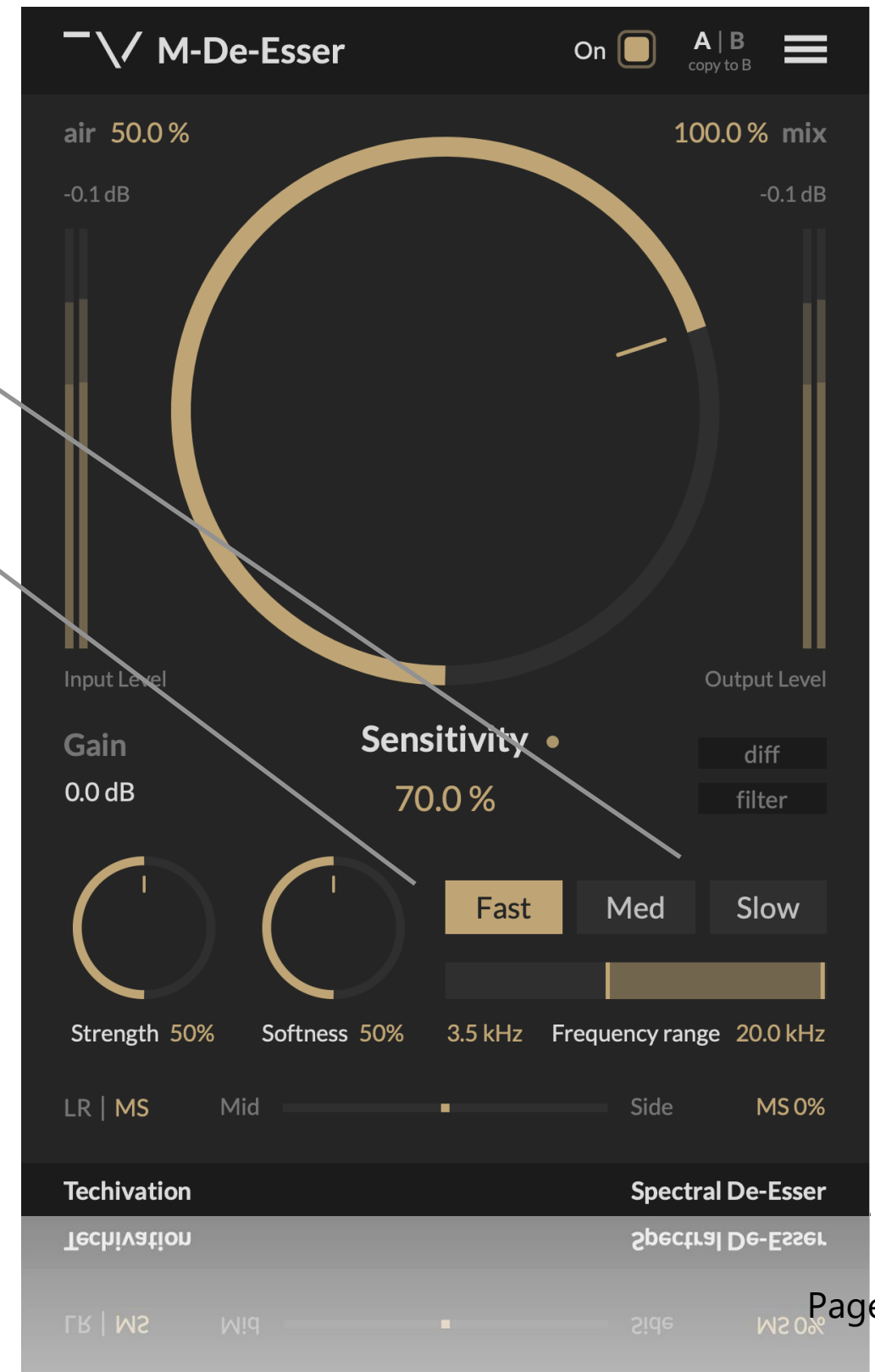
Features

## Medium Mode

M-De-Esser の「Medium」モードは、時間の経過とともに漸次的かつ滑らかに平滑化とトランジェントの維持を効果的に組み合わせたバランスの取れた応答速度を提供します。

この汎用性の高い設定により、トランジェントの明瞭さとインパクトを維持しながら、耳障りな周波数を効果的に低減する調和のとれたディッシングプロセスが保証されます。「Medium」モードは、精度と平滑化の間で完璧な妥協点を見つけ、オリジナルのオーディオとシームレスに融合する磨かれて洗練されたサウンドを実現するのに最適な選択肢です。

ボーカル、楽器、またはその他のオーディオ素材を扱う場合でも、「Medium」モードはクリエイティブなコントロールを強化し、自然で心地よい特性を持つプロレベルの結果を提供します。



# Techivation M-De-Esser

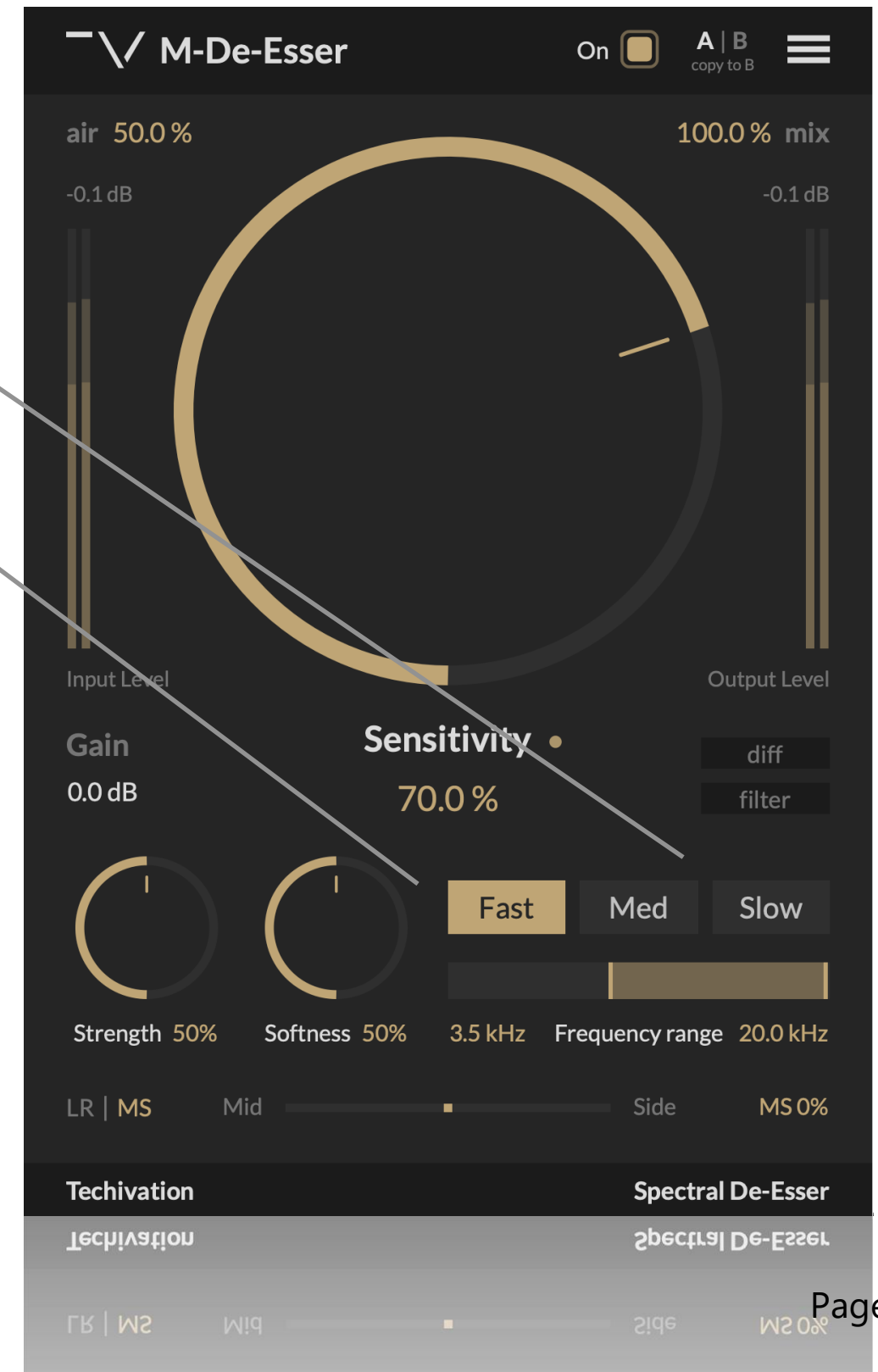
Features

## Slow Mode

M-De-Esser の「Slow」モードは、耳障りな周波数を効果的に低減しながら、時間の経過とともに漸次的かつ滑らかに処理を行うことを優先するように応答速度を設定します。

この意図的なアプローチにより、「Slow」モードは穏やかで段階的なディエッシングプロセスを提供することに優れ、トランジェントへの影響を最小限に抑えながら、磨かれて洗練されたサウンドを提供します。このモードは、オーディオの自然なダイナミクスを維持することが重要な状況に特に適しており、ディエッシングエフェクトのシームレスな統合を実現します。

「Slow」モードを選択すると、歯擦音を繊細でありながらも著しく低減することができ、その結果、元のオーディオの面影を損なうことなくオーディオを向上させる、自然なままのバランスの取れたサウンドが得られます。



# Techivation M-De-Esser

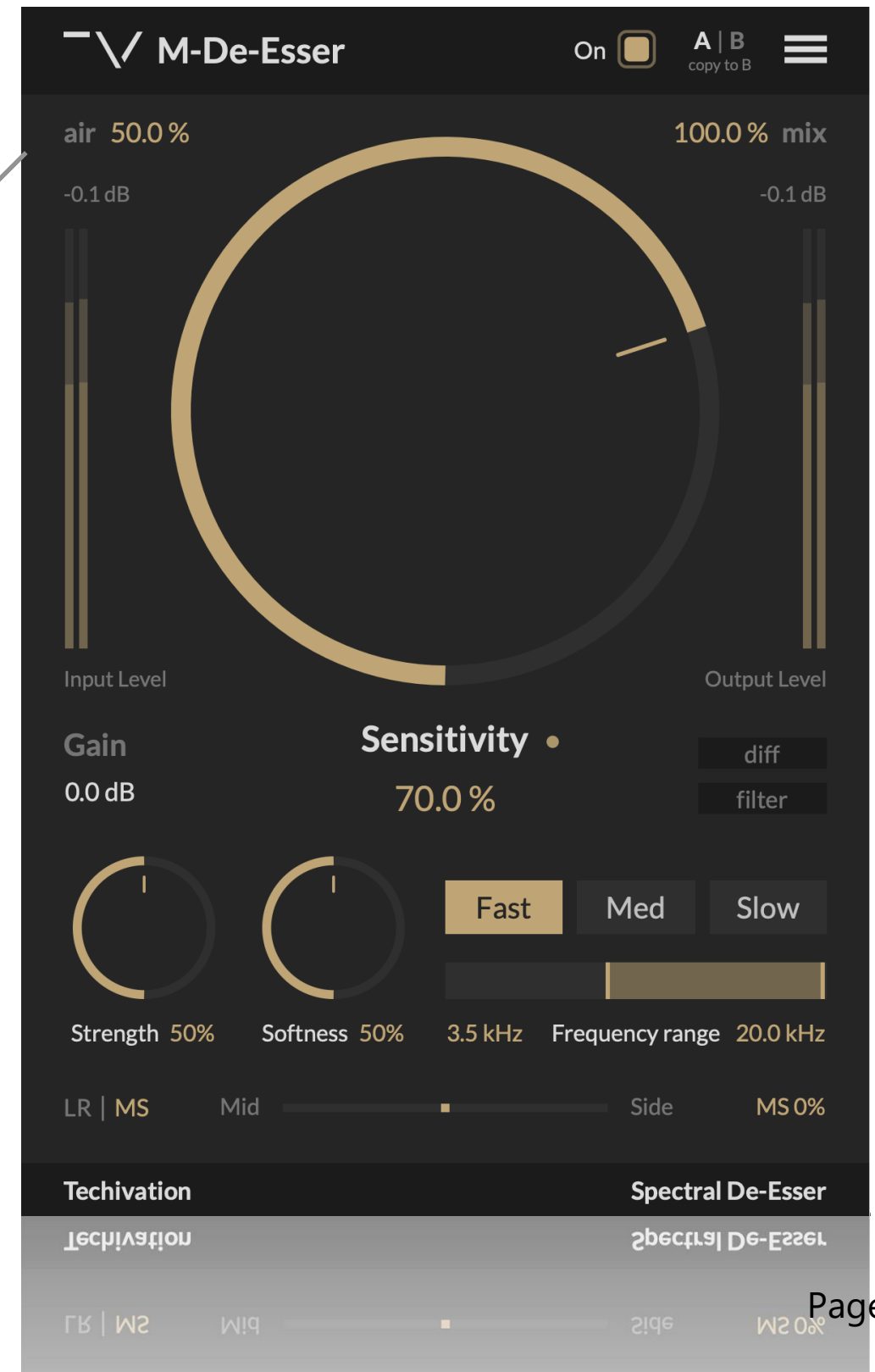
Features

## Air Boost

M-De-Esser の「Air」コントロールは、追加の高調波を加えることで選択した周波数範囲を強化し、オーディオに繊細かつ自然な明るさをもたらす強力な機能です。

このオプションは、耳障りさや明るすぎるレゾナンスを除去した後、トラックにさらに輝きを加えたい場合に特に便利です。

「Air」コントロールは倍音を巧みにブレンドすることで、磨かれて洗練されたサウンドを実現し、大幅なEQの調整を必要とせずに録音の全体的な明瞭さと存在感を高めます。



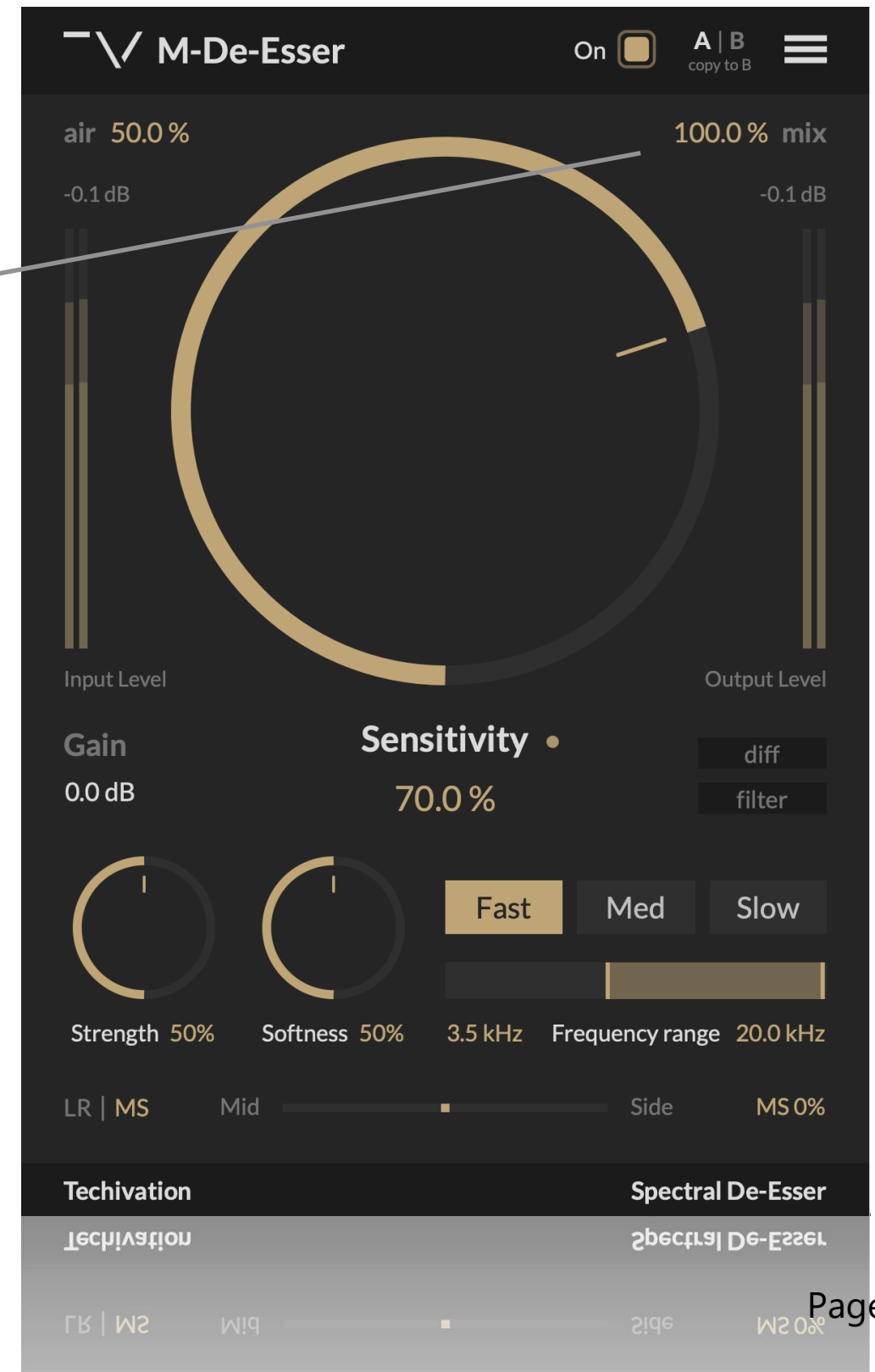
# Techivation M-De-Esser

Features

## Mix Control

M-De-Esser はプラグインのドライ/ウェットバランスを正確に制御し、処理された信号と未処理の信号をシームレスにブレンドして完璧なミックスを実現できます。

この多用途な機能は、特定のオーディオニーズに合わせてディエッシングエフェクトの強度を調整するのに役立ちます。ドライ/ウェットバランスを調整することで、オーディオの元々の特性を維持しながら、同時に耳障りさや歯擦音を低減し、オリジナルのサウンドとディエッシングプロセスとの間の理想的なバランスを実現します。



# Techivation M-De-Esser

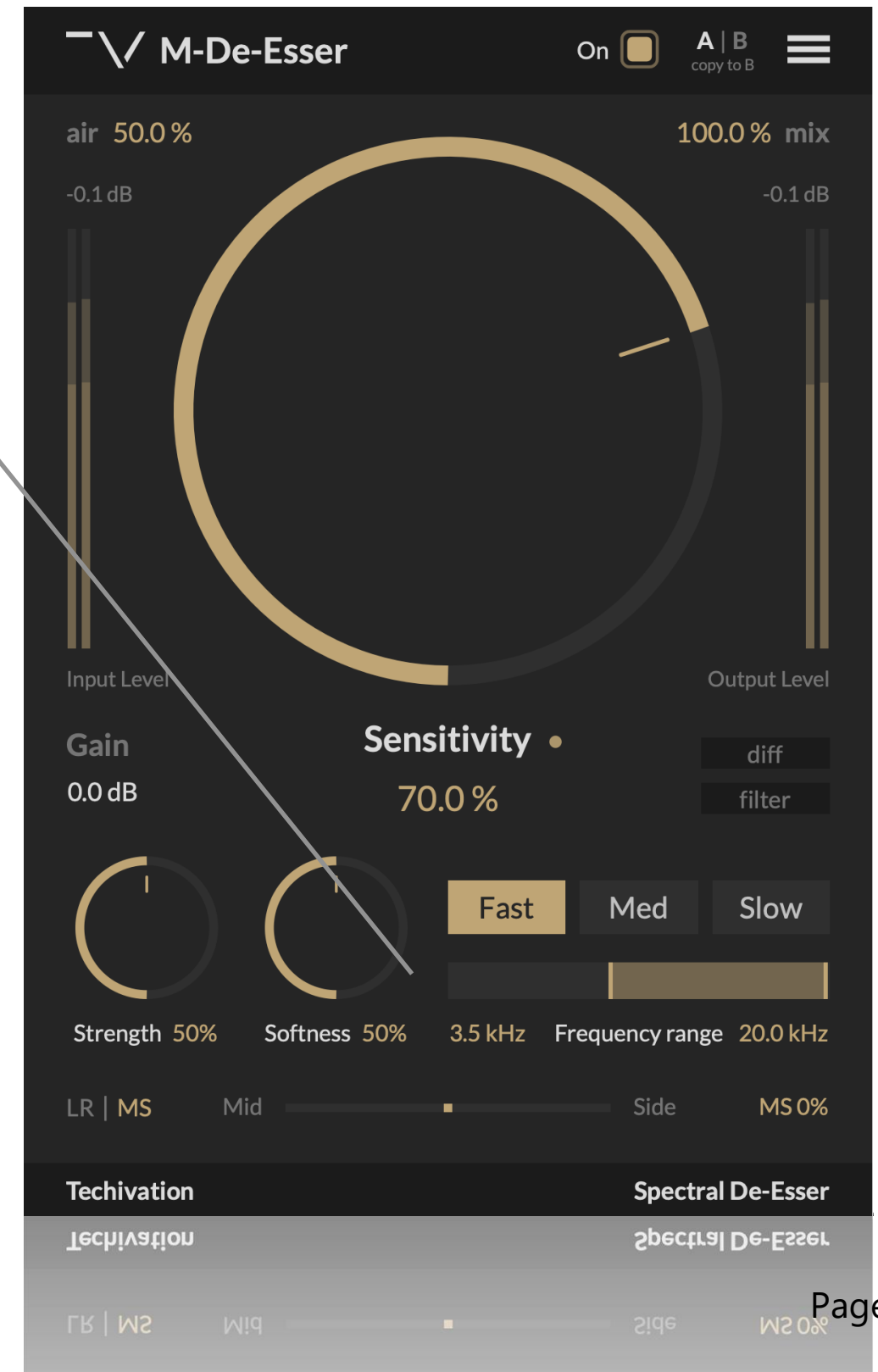
[Features](#)

## Frequency Slider

M-De-Esser では、望ましくない問題が含まれている周波数範囲を特定することが重要なステップです。ここで周波数選択スライダーが役に立ちます。周波数選択スライダーを使用すると、プラグインがターゲットにして操作する特定の周波数範囲を区分して選択できます。

周波数選択スライダーを使用すると、スペクトル整形処理を正確に制御できるため、特定の周波数範囲を微調整して、望ましいオーディオ結果を得ることができます。

特定の周波数範囲を分離してターゲットにすることで、音色の問題に効果的に対処し、オーディオトラックの全体的な品質と特性を向上させることができます。





# Techivation M-De-Esser

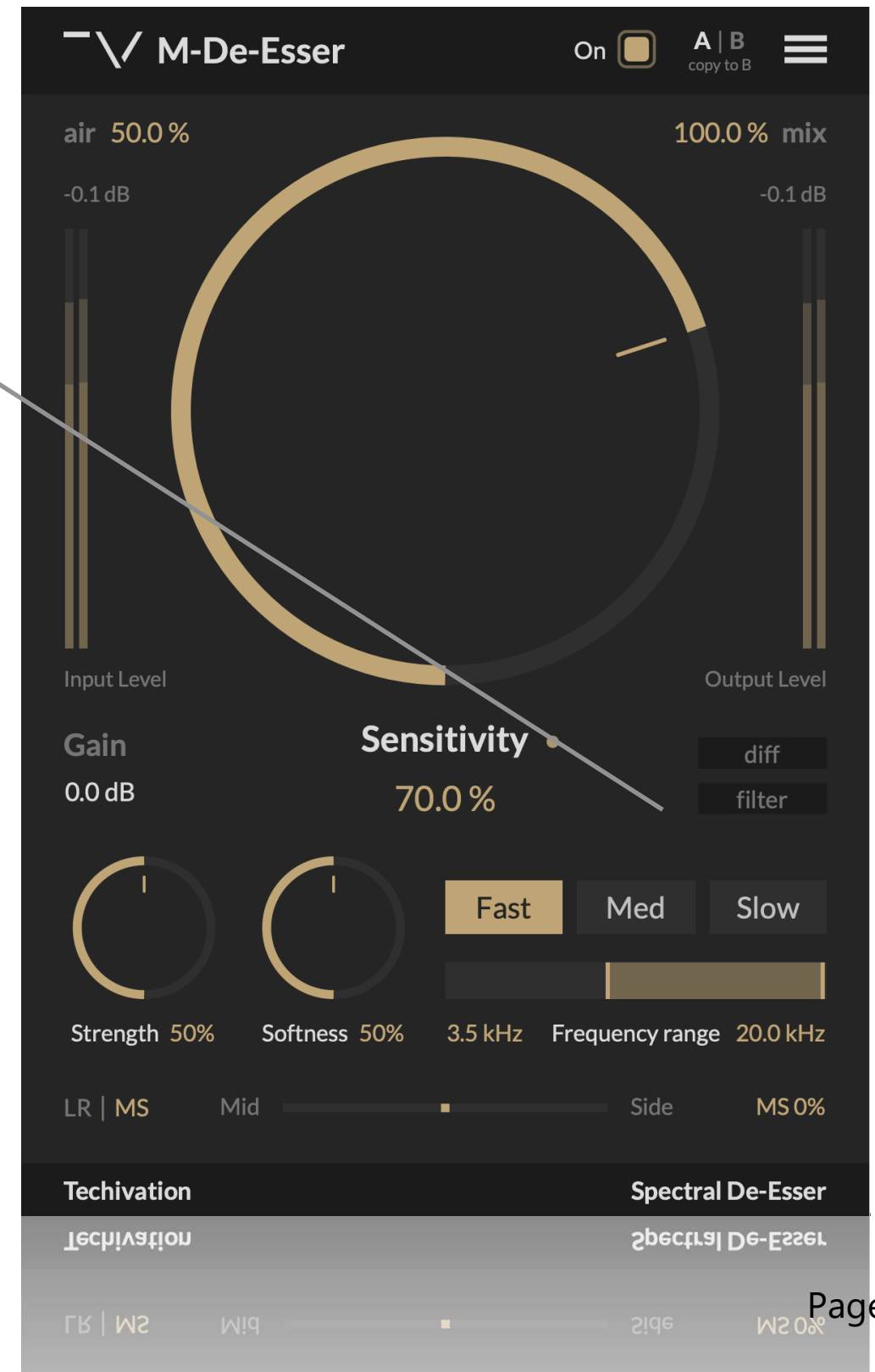
Features

## Diff & Filter

M-De-Esser の「Diff」ボタンは、オリジナルのオーディオ信号と処理されたオーディオ信号の違いを聞くことができる機能である、デルタリスニングのことを指します。

「Filter」を使用すると、周波数範囲スライダーで選択した周波数範囲だけを聞くことができます。

「Diff」は、オーディオ信号に対する処理の影響を理解するのに役立ち、サウンドの他の要素に悪影響を与えることなく、行われている調整が耳障りさ、濁り、音のこもりなどの対象とする問題に効果的に対処できることを確実なものにします。





# Techivation M-De-Esser

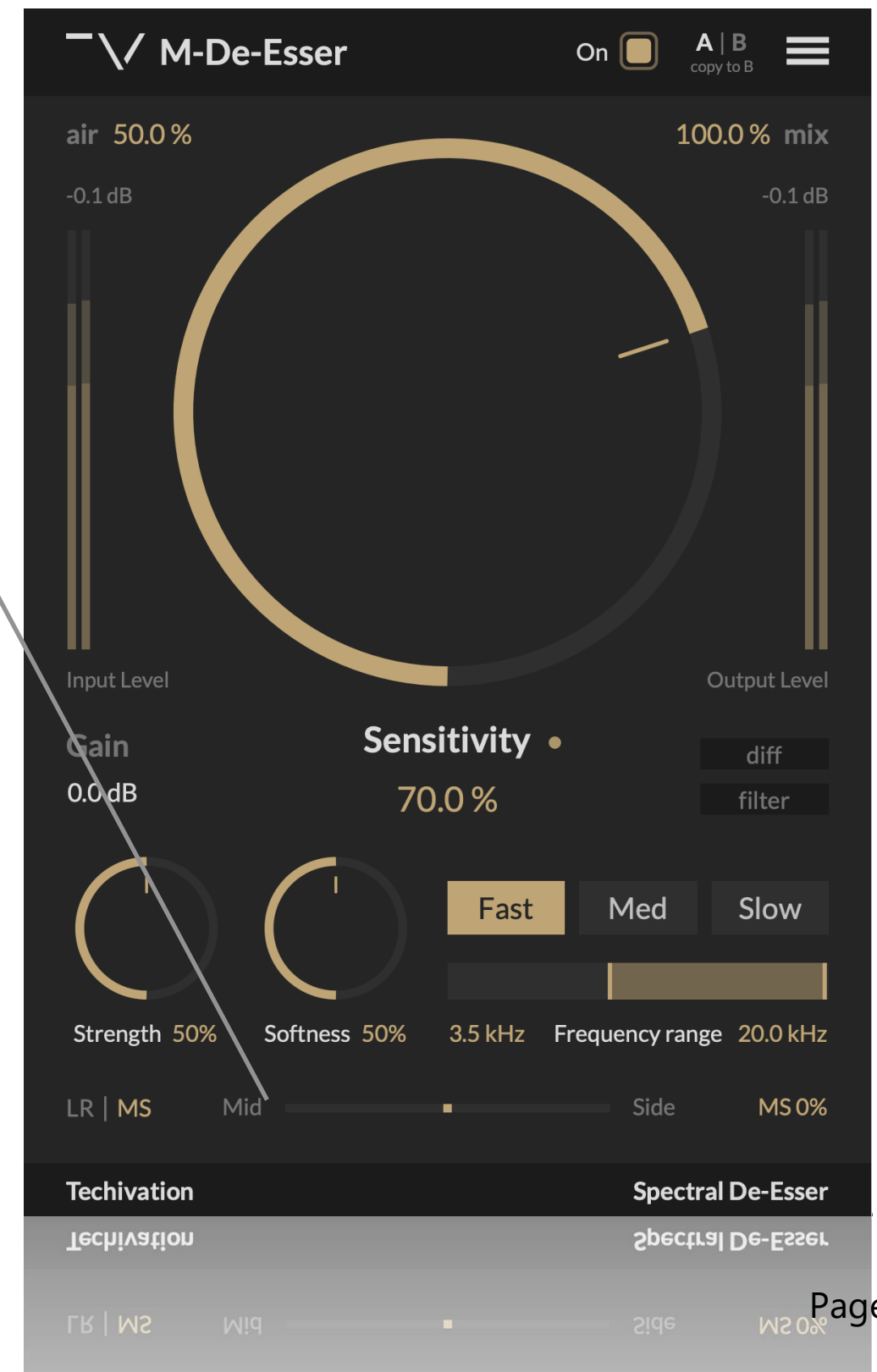
Features

## Mid-Side and Left & Right

この機能を使用すると、LR (Left・Right) モードまたはMS (Mid・Side) モードの間で処理を切り替え、ステレオトラックの LR または MS チャンネルに対するプラグインのエフェクトの量を制御できます。

LR モードでは、プラグインは Left チャンネルと Right チャンネルを独立して処理します。トラックのステレオバランスを維持する必要がある場合は、処理を MS モードに切り替えます。

バランススライダーの左側にある LR (Left・Right) または MS (Mid・Side) をクリックしてモードを切り替え、スライダーを左右にドラッグ、あるいは右下でクリックしながらドラッグやパーセント値を入力することによって量を設定できます。



# Techivation M-De-Esser

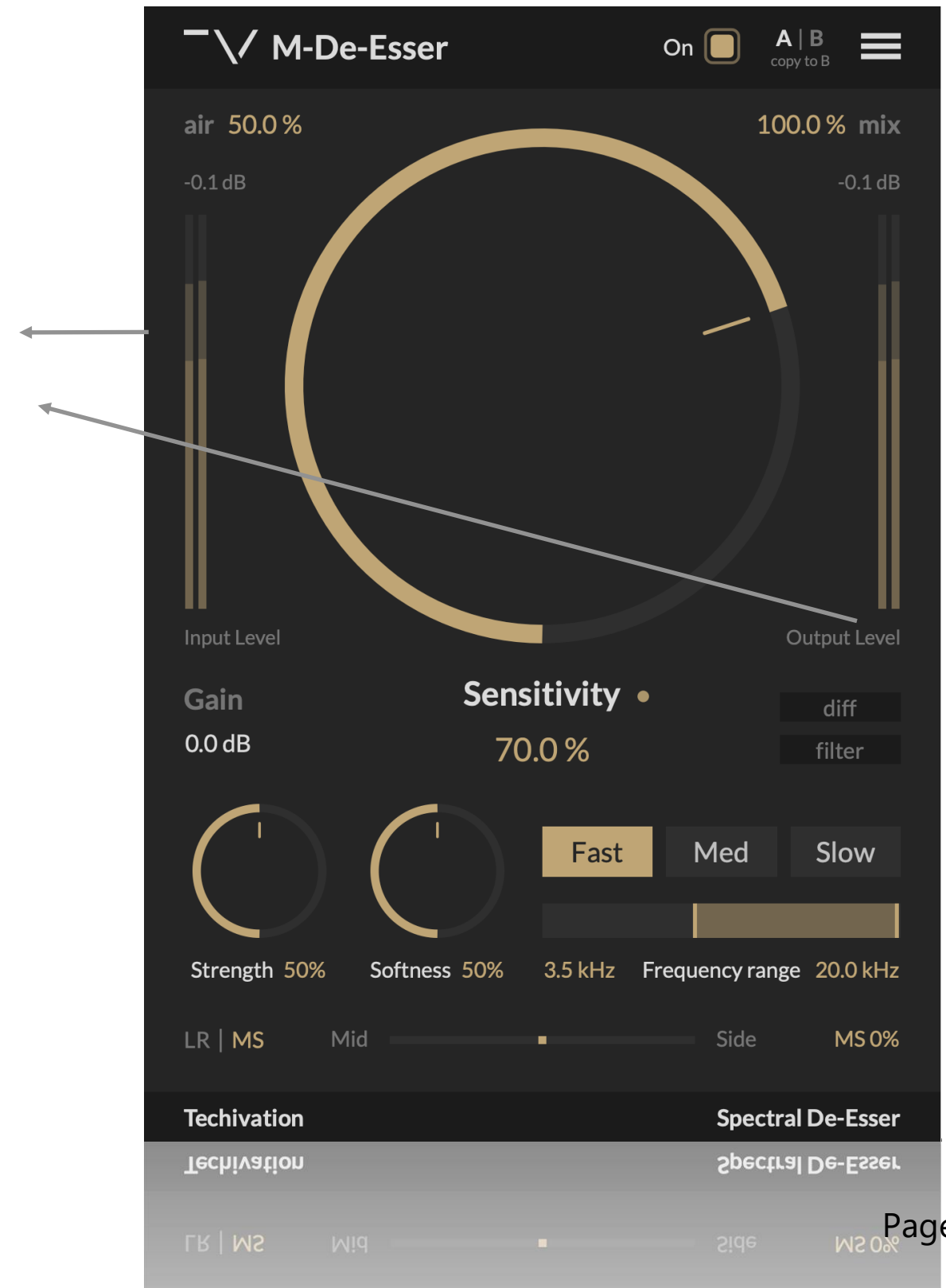
[Features](#)

## Input-Output Level Meters

入出力レベルメーターは、処理前後の入力信号と出力信号のオーディオレベルを表示する視覚的なディスプレイです。これらのメーターは入力および出力レベルに関するリアルタイムのフィードバックを提供し、スペクトル整形プロセス中に発生する振幅の変化を監視できます。

M-De-Esser の入出力レベルメーターをチェックすると、処理設定が入力信号に適切であること、および出力レベルが望ましいターゲットレベルに一致していることを確認するのに役立ちます。

処理中に入力および出力レベルを監視することで、最適な結果のために処理設定を調整し、スペクトル整形プロセスを微調整することができます。



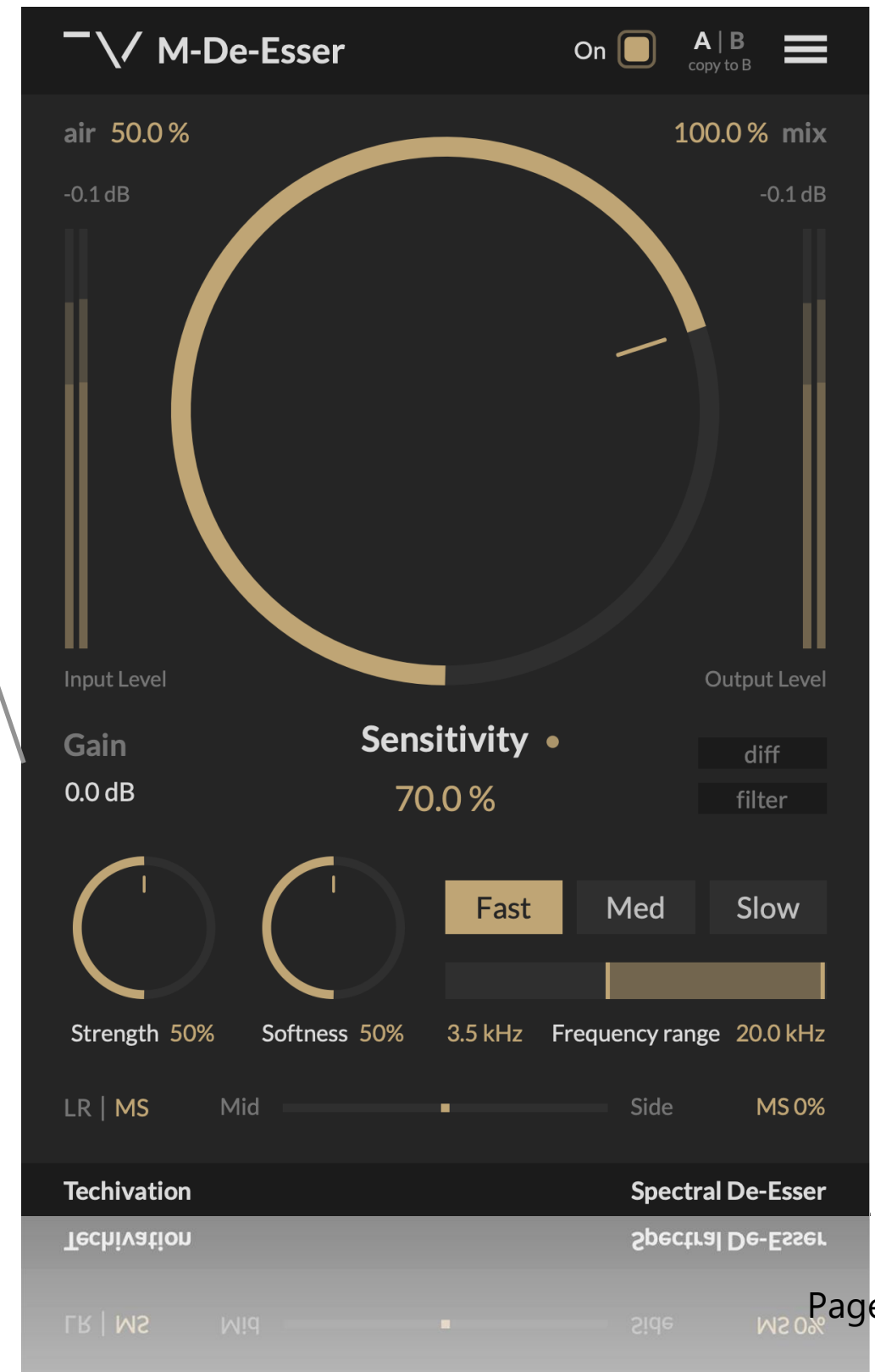
# Techivation M-De-Esser

[Features](#)

## Gain Control Part 1

M-De-Esser では、「Gain」コントロールは、処理されたオーディオ信号の出力ボリュームを調整する役割を果たします。対象となる周波数範囲のスペクトル圧縮のしきい値は、全体の信号レベルに応じて設定されます。したがって、処理は入力レベルに依存せず、入力ゲイン制御は必要ありません。

しかしながら、M-De-Esser の「ゲイン」コントロールは、プラグインのエフェクトをサウンドに適用した後に正確なゲイン補正を行うのに役立ちます。



# Techivation M-De-Esser

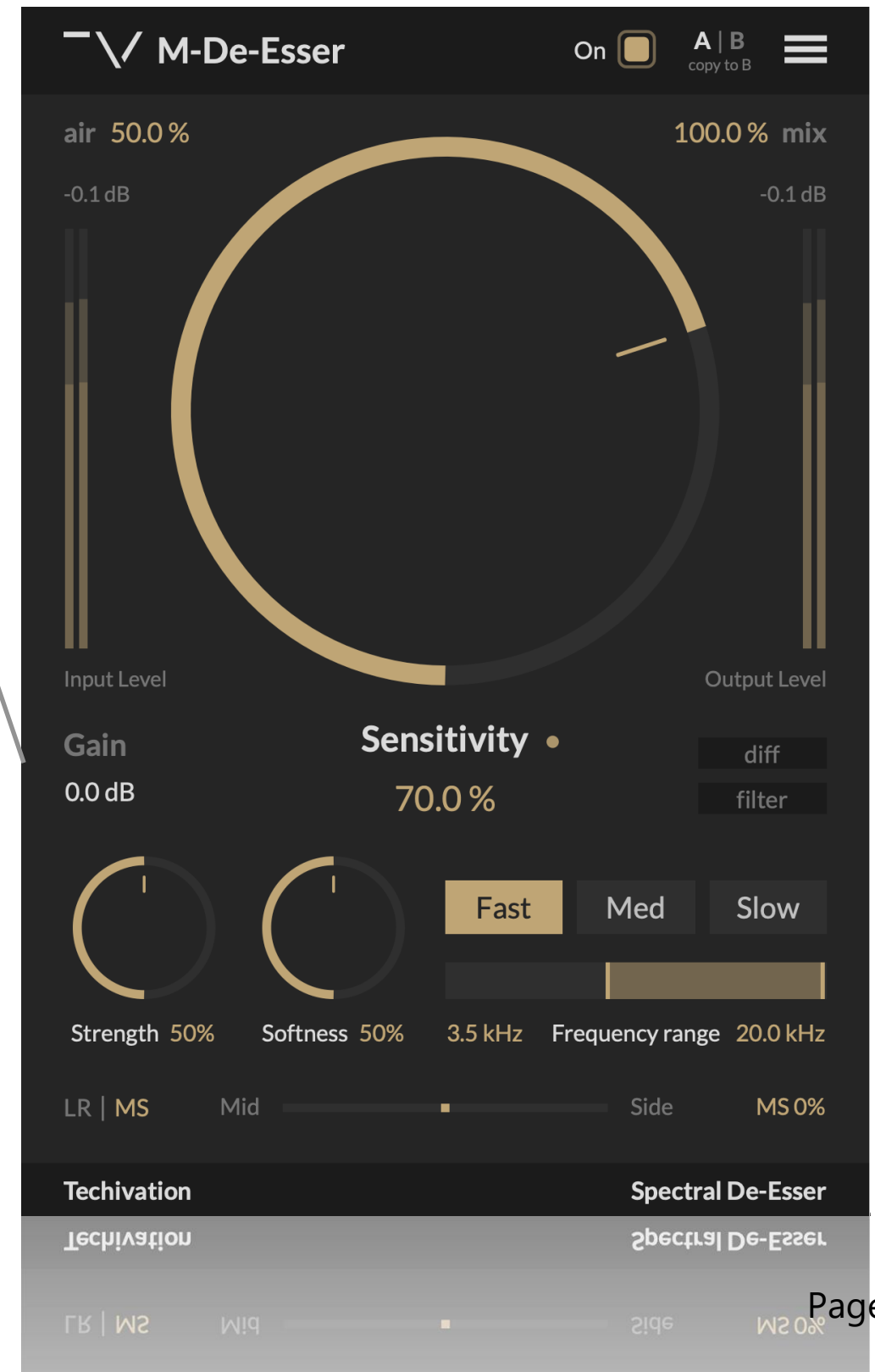
[Features](#)

## Gain Control Part 2

オーディオ信号にスペクトル整形処理を適用すると、全体の音量や振幅が変化する場合があります。「Gain」コントロールを使用すると、処理されたオーディオ信号の出力レベルを目的のターゲットレベルに合わせて調整でき、スペクトル整形の効果が正確かつ一貫して適用されるようになります。

M-De-Esser の「Gain」コントロールは出力ボリュームの微調整を可能にし、処理されたオーディオ信号をミックス内の他のオーディオトラックと一致させる必要がある場合や、特別な出力フォーマットのための特定のボリューム調整が必要な場合に特に役立ちます。

「Gain」コントロールで出力ボリュームを制御することで、希望のオーディオ要件を満たすバランスの取れた一貫したオーディオ出力を実現できます。



# Techivation M-De-Esser

[Features](#)

## Presets

このプラグインは、右上隅にあるメニューを使用して、既存のプリセットをロードしたり、独自のカスタムプリセットを作成して保存したりする便利な機能を提供します。

この機能により、特定のミキシングニーズに合わせたさまざまな設定にすばやくアクセスして適用できるようになり、ワークフローが合理化され、オーディオ処理タスクの一貫したスタートポイントが提供されます。

さらに、独自のカスタム プリセットを保存すると、さまざまなプロジェクト間で好みの設定を簡単に呼び出すことができ、オーディオ制作への一貫した効率的なアプローチが保証されます。

# Techivation M-De-Esser

Features

## Internal On-Off Switch

このプラグインは専用のバイパス/オンコントロールを備えており、エフェクトを迅速に有効またはバイパスすることができます。このユーザーフレンドリーなコントロールは、DAWホスト内で直接エフェクトのオンとオフを切り替えるときに発生する可能性のあるクリック音やオーディオアーティファクトを回避できるように設計されています。このバイパス/オンコントロールを利用することで、プラグインエフェクト有りの状態、無しの状態でオーディオをシームレスに聴き比べることができ、よりスムーズなリスニング体験とミキシングプロセス内でより正確な調整をすることができます。

バイパス/オンコントロールは、その主な機能に加えて、DAW内でオートメーション処理を行うときに特に役立ちます。バイパス/オンコントロールを自動化することで、ミックス内の特定のポイントでプラグインエフェクトを有効または無効にすることができ、オーディオ処理におけるダイナミックかつ創造的な変更を行うことができます。

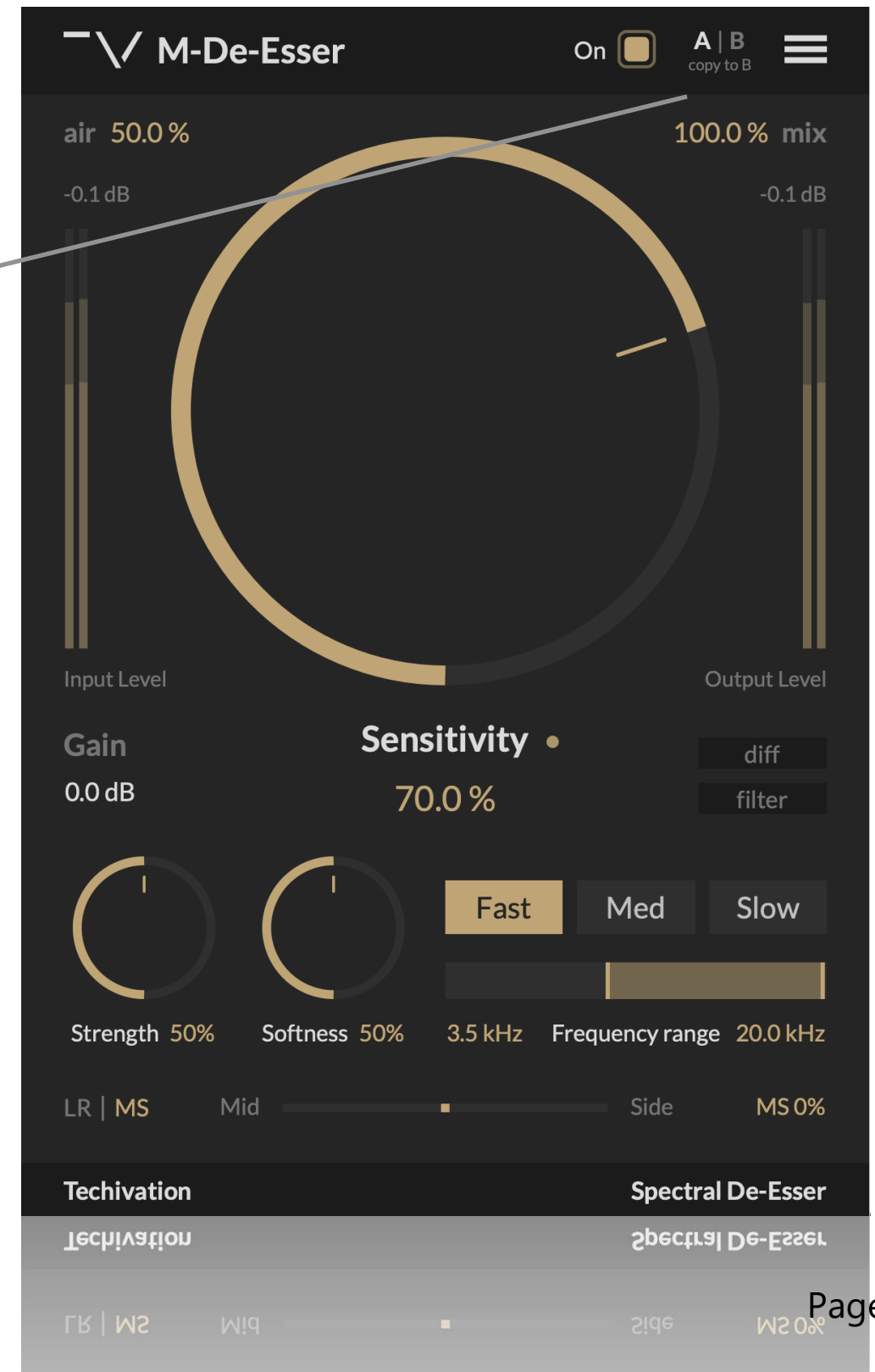


# Techivation M-De-Esser

Features

## A | B Comparison

A/B ボタンは、さまざまなオプションを比較し、オーディオ処理のニーズに最適な設定を見つけるための便利な方法を提供します。クリックするだけで、同じ処理チェーンの2つの異なるバージョンを簡単に切り替えて、結果を比較できます。さらに、「Copy A to B」および「Copy B to A」機能を使用すると、あるバージョンから別のバージョンに設定をコピーし、その効果を比較することで、微調整や調整をすばやくテストできます。A/B ボタンを「Copy」機能と組み合わせて使用すると、処理の微妙な変化を効率的に評価し、情報に基づいて最適なアプローチを決定できます。この合理化されたワークフローにより、時間と労力が節約され、技術的な細部に囚われることなく、ミックスのクリエイティブな側面に柔軟に取り組むことができます。





# Techivation M-De-Esser

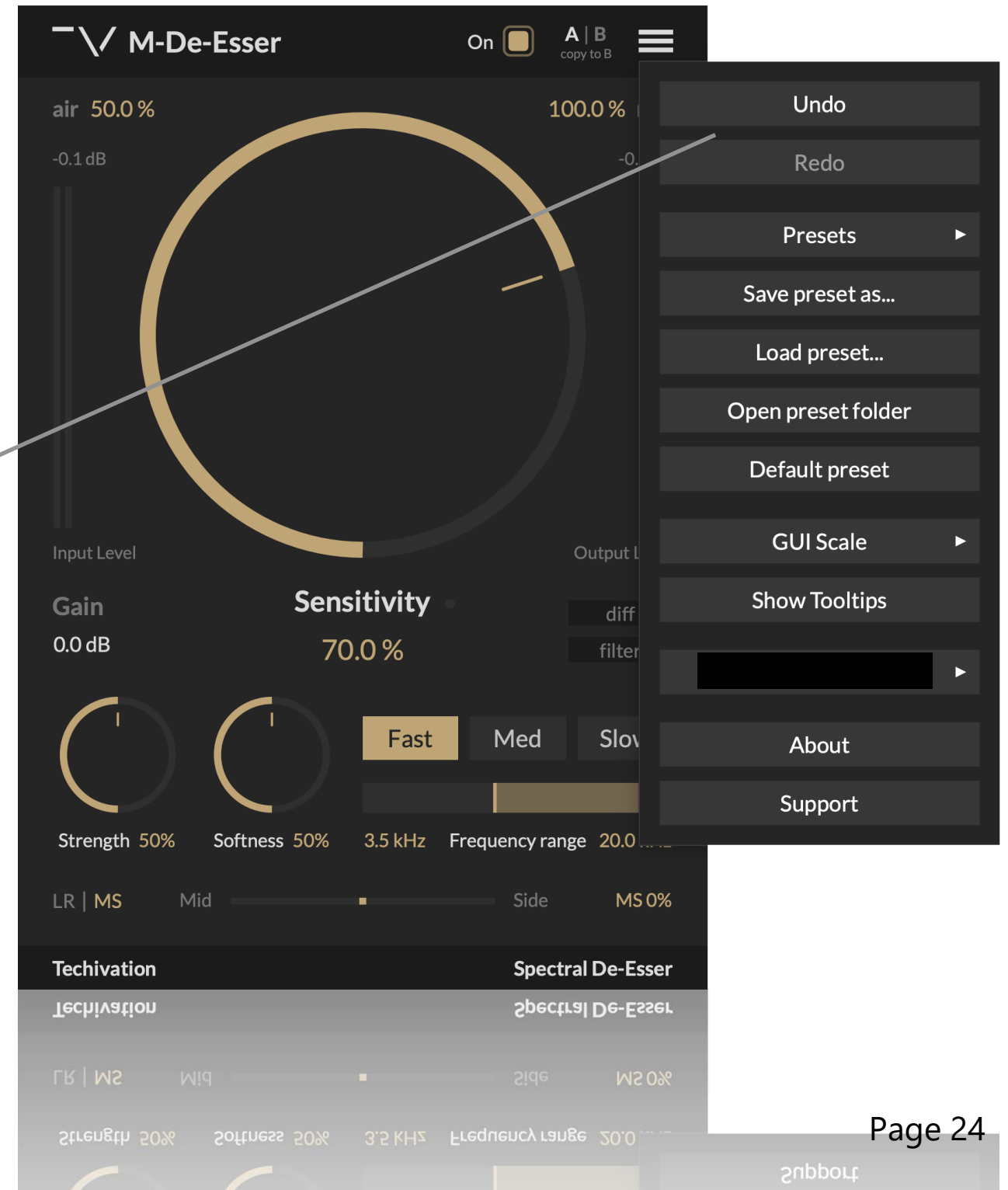
[Features](#)

## Undo/Redo

M-De-Esser プラグインには、組み込みの

「Undo」および「Redo」オプションの便利な機能が装備されており、オーディオ処理の作業中にさらなる安心感を与えます。これらの機能を使用すると、以前の設定に簡単に戻したり、誤って行った変更をやり直すことができるため、時間を節約し、貴重な調整が失われるという可能性により生じるストレスを軽減できます。

「Undo」および「Redo」オプションを使用すると、オーディオを不可逆的に変更することを恐れることなく、さまざまな設定や構成を試すことができます。さらに、この機能は、代案となる処理の道筋を遡って探索する効率的な方法を提供することでワークフローを強化し、オーディオ制作においてより多くの情報に基づいた意思決定を行うことができるようにします。





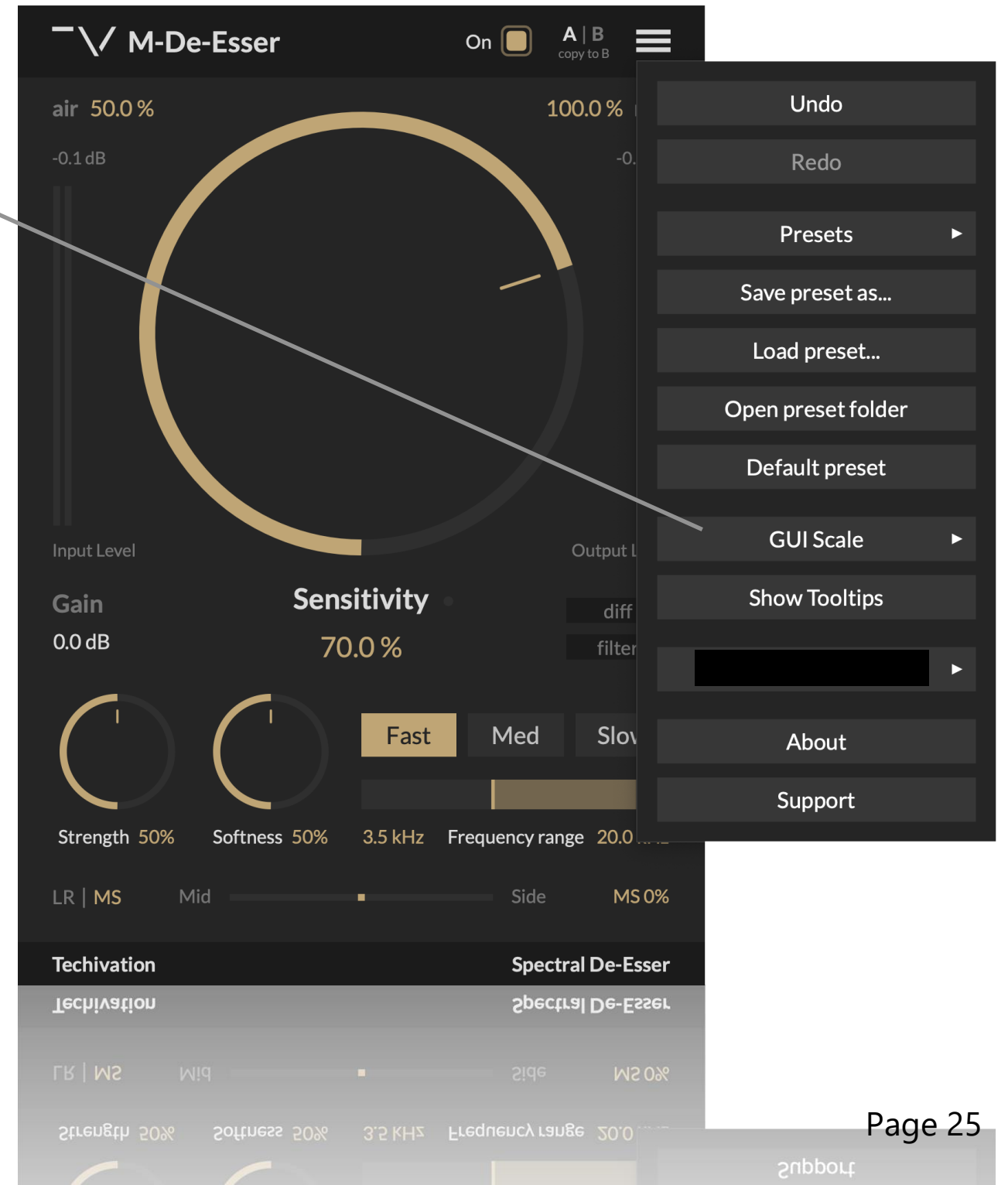
# Techivation M-De-Esser

Features

## GUI Scale

M-De-Esser のインターフェイススケール機能を使用すると、好みに合わせて GUI のサイズをカスタマイズし、ワークフローを最適化できます。80%から150%までの幅広いスケールオプションが利用可能で、視覚的スタイルや作業スタイルに合わせてインターフェイスをパーソナライズできます。この機能の優れた点の1つは、選択したスケールに関係なく、プラグインのビジュアル品質が一貫したままであることです。これにより、好みの表示サイズに合わせて拡大、または縮小した場合でも、インターフェイスが鮮明で読みやすい状態に保たれます。

さらに、M-De Esser のインターフェイススケール機能は、Retinaディスプレイを含むハイエンド品質のモニター向けに最適化されており、プラグインの見栄えが良く、さまざまなデバイス上で確実に動作することが保証されます。



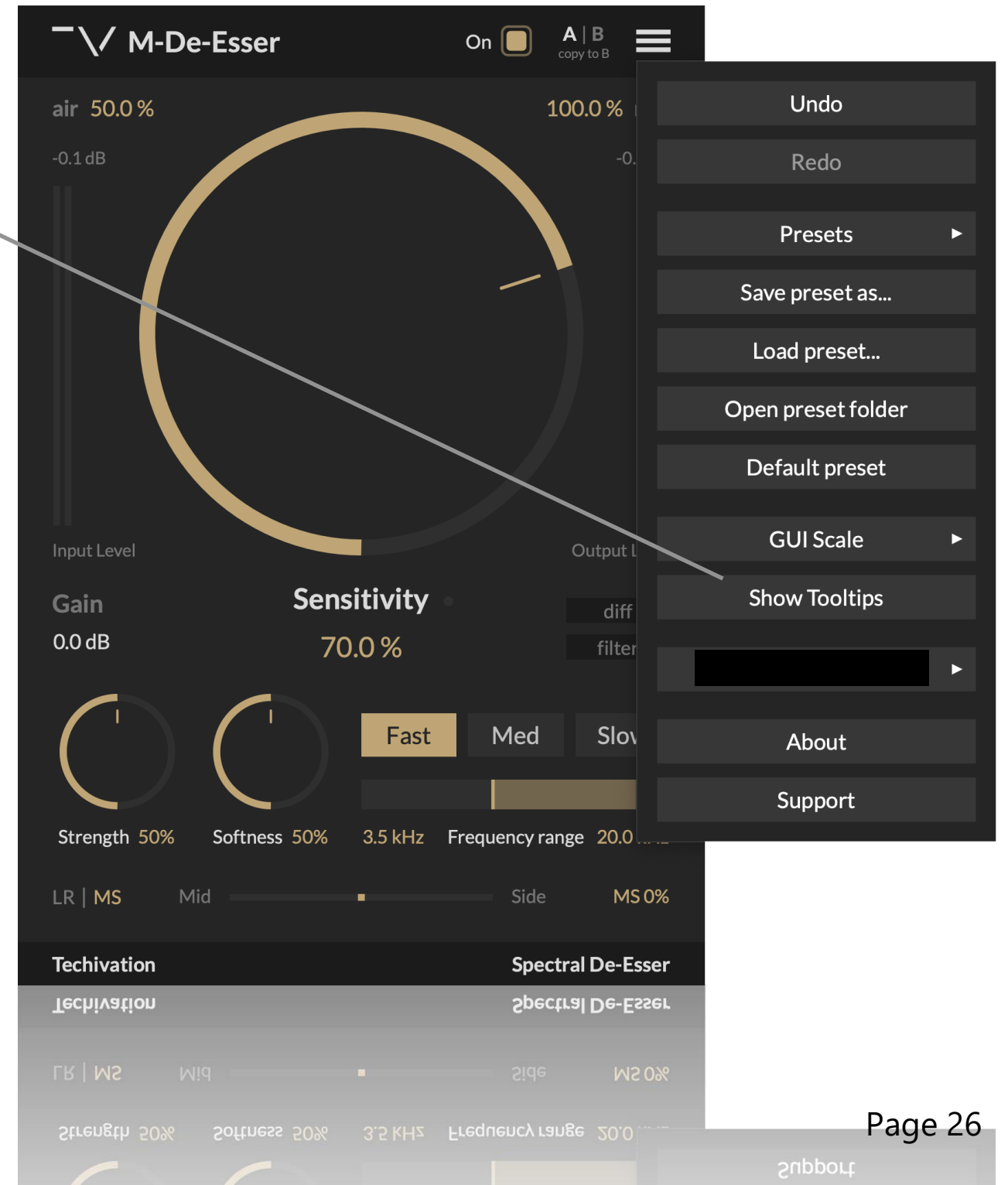
# Techivation M-De-Esser

[Features](#)

## Tooltips

M-De-Esser には、プラグインのメニューから有効または無効にできる便利な「ツールチップ」オプションがあります。このオプションを有効にすると、ユーザーインターフェイスの各部分の特定のセクションの上にマウスを置くだけで、その部分の簡単な説明が表示されます。ツールチップは、プラグインのさまざまなコントロールや設定についてすばやく学習するための素晴らしい方法であり、インターフェイスの効率的な操作と使用が容易になります。

これらは、各パラメーターの機能、範囲、どのようにオーディオ信号へ影響を与えるのかなど、各パラメーターに関する役立つ情報を提供します。ツールチップオプションを有効にすると、ワークフローが高速化され、M-De-Esser プラグインの操作が容易になります。特定のコントロールの機能がわからない場合は、その上にマウスを置くだけで、すぐに有益なツールチップが表示されます。



# Techivation M-De-Esser

Features

## プラグインメニュー

便利な機能のクイックメニューです。

- Undo
- Redo
- Presets
- Save Preset As...
- Load Preset...
- Default Preset
- Open preset folder
- GUI Scale
- Show/Hide Tooltips
- [ユーザーのメールアドレス]/Sign in
- About
- Support



# Techivation M-De-Esser

## 互換性

プラグインフォーマット: VST, VST3, AU, AAX.

対応プラットフォーム: 通常の macOS インストーラーは (10.13 (High Sierra) 以降をサポートし、レガシー macOS インストーラーは 10.9 (El Capitan) から 10.12 (Sierra) までをサポートします。

Windows 7以降。 32 ビット および 64 ビット。

対応DAW: Ableton Live, Logic Pro, Avid Protools, FL Studio, Cubase, Nuendo, Reaper, その他、市販されている主要な DAWソフトウェア。

## アクティベーション

M-De-Esser を当社の[利用規約](#)に従ってアクティブ化するには、当社 Web サイトからライセンスを購入する必要があります。弊社からライセンスを購入すると、プラグインにサインインした後、Techivation アカウントでプラグインが自動的にアクティベートされます。1つのライセンスを購入し、取得すると、ユーザーは同時に最大2台のマシンでプラグインを使用できます。

## サポート

サポートに関するお問い合わせについては [techivation.com/support](https://techivation.com/support) をご覧ください。

権利について、詳しくは [techivation.com/terms-conditions](https://techivation.com/terms-conditions) をご確認ください。

ご質問がございましたらお気軽にメールでお問い合わせください。 [info@techivation.com](mailto:info@techivation.com) あるいは [techivation@gmail.com](mailto:techivation@gmail.com)

## インストール方法

[M-De-Esser](#) ライセンスを購入した場合は、プラグインにサインインしてアクティベートし、生涯使用できます。

サインアップ/購入時にはソフトウェアのダウンロードが提供されますが、いつでも [Techivation.com](https://techivation.com) にアクセスして最新のソフトウェアアップデートを入手できます。

ダウンロード後、ファイルを解凍し、お使いのシステムに応じてMac または PC インストーラーを選択します。(警告: PC ファイルを Mac 上で実行したり、Mac ファイルを PC 上で実行したりしないでください)。

- Mac: PKG インストーラーをダブルクリックし、指示に従います。
  - PC/Windows: ファイルの内容を抽出します。セットアップファイルをダブルクリックし、指示に従います。
- \*注: Mac OS X 10.9 ~ 10.11 を使用している場合は、レガシー macOS インストーラーをダウンロードする必要があります。

# Techivation M-De-Esser

## アンインストール先

### MAC OS

AU: /Library/Audio/Plug-ins/Components/

VST: /Library/Audio/Plug-ins/VST/

VST3: /Library/Audio/Plug-ins/VST3/

AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

Other data: ~/Library/Application Support/Techivation

### WINDOWS

VST: Custom path from installer

VST3: %Program Files%Common Files%VST3%

or %Program files(x86)%Common Files%VST3

AAX: %Program Files%Common Files%Avid%Audio%Plug-Ins%

Other data: C:%ProgramData%Techivation 「注：このフォルダは非表示になっているため、隠しファイルを表示するには最初に設定を変更する必要があります。」